

ラブシート育ちの苗は、 元気な優等生!

水稲育苗用 — 第27号 —

出芽期用・緑化期用/＃20207・＃20307 夜間保温用・下しき用/＃20507

農作物の良きパートナー
ユニチカラブシート[®]
ポリエステル 長繊維不織布

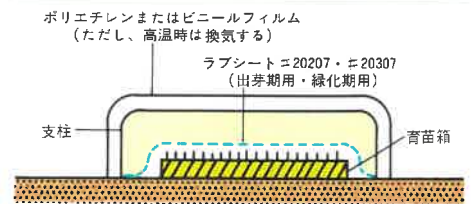


水稲育苗用被覆材として、豊富な経験を誇るポリエステル長繊維不織布ラブシート。数々の優れた特長が、これまでの育苗被覆材の難点を解消して、見事な健苗を育てています。この機能性、経済性を農業の合理化、省力化にお役立てください。

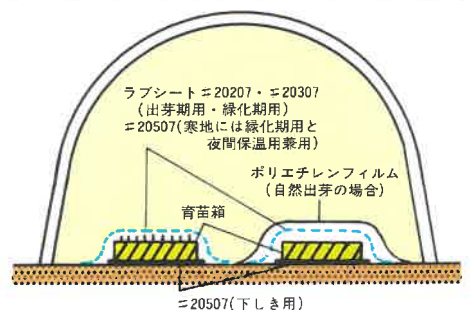
〈特長〉

- 発芽が一定になり、芽がそろふ。
- 適度な遮光で、白化現象が防げる。
- 適度な通気で、高温多湿、乾燥状態に陥ることなく、葉焼けからも保護する。
- 軽くて強い繊維だから、取り扱いが手軽。
- 耐久性が優れているので、繰り返し使用ができる。
- ＃20507は、コモワラと同じくらの保温力を持つ。

自然出芽法でのラブシート使用図解



ハウス型でのラブシート使用図解



特長を生かした、 さまざまな使用例です。



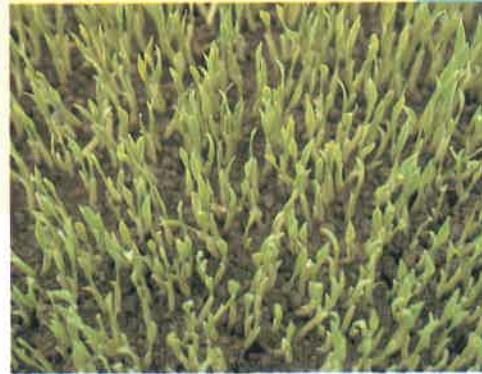
1 自然出芽期用にベタ平張り

軽くて丈夫なうえ、通気性のある、きめこまかい布状なので、平張りしても出芽してきた芽をいためません。また、通水性があるので、ラプシート上からもかん水ができます。



2 緑化期のベタ平張り

適度な遮光性があり、出芽後の幼い苗を強光から守り、均一な緑化を促します。



3 緑化した苗

通気性があるので、1.5葉ぐらいまでかけっぱなしにしておいても平気です。



4 ハウス育苗でのトンネル

ラプシート1枚でもトンネル状にすれば、夜間の保温力はより効果的です。



5 夜間の保温用にベタ平張り(≠20507使用)

寒冷地での夜間の保温にも、ベタがけが有効です。緑化期から通して兼用で使用できます。



6 厳寒地の下しき(≠20507使用)

湿地及び冷え込みのきびしい場所では、もみぐらをまき、その上にラプシートを敷けば、地面からの冷却を防ぎます。



7 育苗箱の下しき(稚苗)(≠20507使用)

根が地面に入りにくく、根切りの労力が省けます。根張りのすばらしいマット形成のよい健苗に育ちます。

- 長期間の使用により、毛羽等の発生による機能低下のおそれがありますので早期交換をおすすめします。
- このカタログに記載された内容、仕様は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。



8 田植え直前の健苗

葉の巾は広くズングリ型の厚い葉、太くたくましい茎と、ガッチリした根張りのよい健苗ができます。



※ラプシートはユニチカの登録商標、農業分野に初めて本格使用された不織布です。

UNITIKA ユニチカ株式会社

スパンボンド営業部 農業資材グループ

〒103-8321 東京都中央区日本橋室町3-4-4 TEL.03-3246-7564 FAX.03-3246-7559

ホームページ <http://www.unitika.co.jp/spunbond/>

取扱い代理店

秋田共栄物産株式会社

☎011-0951 秋田市土崎港相染町字浜ナシ山17-10
TEL. 018-846-1511(代) FAX. 018-846-2112

ユニチカラプシート®

ポリエステル100% 長繊維不織布

水稻育苗箱置床用遮断シート

#20307BKD・#20507BKD 巾180・210・235cm



育ちがちがう、専用ブラック誕生。

■置床被覆材による苗生育比較

置床被覆資材	葉令(葉)	苗長(cm)	乾物重(100個体) 地上部(g)	充実度 (mg/cm)
ラプシート (ブラック)	3.6	10.8	2.49	2.31
保温用マット	3.8	10.8	2.27	2.10
新聞紙(3枚)	3.8	13.0	2.60	2.00
目標値	3.5	14.0	2.50以上	1.70以上

充実度 = 地上部乾物重 / 苗長

特
長

- 1. 設置床のPH調整が不要です。**
置床と育苗箱をラプシートブラックによって遮断するので、野菜を作ったハウスでも置床のPH調整をせずに水稻育苗が行なえます。
- 2. 設置床の地温を上昇させます。**
育苗箱を設置する3~4日前にラプシートブラックを敷きますと、地温が上昇しますので、発芽ぞろいが抜群に良くなります。また、地下水の高い所でも、根ぐされの被害を最小限にとどめます。
- 3. 根が設置床に入りません。**
根が置床面に入りこまないの、根切りの必要がありません。
- 4. 省力で健苗が育ちます。**
育苗箱の移動が行なえて、根張りのすばらしいマット形成のよい均一な健苗に育ちます。

■ラプシート(ブラック)の使用状況比較



未使用 使用



使用の場合



未使用の場合

※注意点 1. 乾燥がちになるので、灌水を適度に行なってください。2. 置床からの肥料吸収がないので、追肥が必要です。



ユニチカ株式会社
スパンボンド事業本部農業資材課

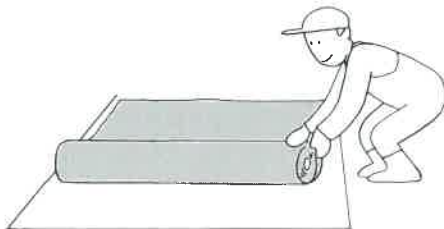
代理店

ユニチカ ラブシート[®] ブラック

■ラブシートブラック(遮断方式)の使用方法



(1) 置床を整地する。



(2) 置床の上にラブシートブラックを敷く。



(3) その上に育苗箱を設置する。

■ラブシートブラック(遮断方式)の利点

- (1) 置床と育苗箱を遮断するので、置床のPH調整が不要(水稲PH 4.5~5.5野菜5.5以上)。ムレ苗が発生しにくくなります。
- (2) ハウス跡を有効的に利用できます。
- (3) 育苗箱の位置交換が簡単なので、苗長が揃いやすくなります。
- (4) 水のかけ過ぎの心配が少ないので、徒長苗が出来にくく、充実度(1個体乾物mg/苗長cm)が高くなります。
- (5) 灌水回数を多くするため、酸素の供給が多く、育苗箱と置床のすき間に空気の層ができます。そのため、根が太くて白い苗が育ちます。
- (6) 箱内育苗のため、マット形成が強くなります。
- (7) 葉令が進みます。
- (8) 育苗箱が簡単に置床からはがせます。
- (9) 根切りをしていないため、苗が長持ちします。
- (10) 健全な苗ができやすく、移植後の活着が良くなります。

■注意点■

- 水管理
育苗期間中、後半1回0.5L~0.6Lとして、1日2回程度灌水。乾燥に注意してください。
- 追肥
元肥窒素成分1gとして1~2回行なってください。
(目安1.5葉期1g2.0葉期1g)

■水稲育苗置床に関する資材試験■

調査結果

調査日	ラブシート区		有孔ポリ区	
	苗長(cm)	葉令(枚)	苗長(cm)	葉令(枚)
4月23日	8.0	1.7	7.6	1.3
5月1日	10.5	2.5	12.3	2.5
5月8日	11.1	2.6	13.8	2.7
5月14日	13.8	3.4	14.4	3.1

- 1. 試験場所 青森県十和田市大字洞内
- 2. 育苗様式 畑ハウス育苗(中苗100g/箱 乾籾)
- 3. 耕種概要
 - 播種月日:4月8日
 - 発芽状況:良好
 - 使用土壌:床土、覆土共にパールマット
 - 置床:PH6.4
- 4. 試験資材
 - 有孔ポリ区
 - ラブシート(ブラック20307BKD)

<5月14日の苗調査>

(cm)	第1葉鞘高	第2葉鞘高	第3葉鞘高	第1葉身長	第2葉身長	第3葉身長	苗長	苗令	充実度
ラブシート区	2.9	4.6	6.8	2.0	5.5	6.9	13.8	3.4	2.1
有孔ポリ区	3.5	5.3	5.6	1.9	6.9	8.3	14.4	3.1	1.7
県目標	2.5	4.0	6.0	2.0	5.5	8.0	14.0	3.5	1.7以上

<キリトリ線>

水稲育苗用下敷シート申込用紙

農業協同組合

組員番号	氏名	ラブシートブラック			
		品名 巾長さ	180cm×50m・100m	210cm×50m・100m	235cm×50m・100m
			本	本	本